

研究プロジェクト4 「立教中学校関係資料研究」

田中智子

本年度は当初、昨年度に引き続き研究会において新制立教中学校の「職員会議録」を輪番で読み進めていたが、第十八回研究会より、「教務日誌」（昭和十五年～三四年）の読み合わせを進めている。「教務日誌」に切り替えた理由としては、当該日誌の戦前期の部分に戦時中の記録が綿密に書かれており、戦後七〇年を迎えた今年、改めてそれを見直す必要があるのではないかという結論に至ったためである。今年開催された研究会は以下の通りであり、「職員会議録」は一九五八年度分まで、「教務日誌」は第三分冊（至昭和二十年六月）まで読み進めている。

第十六回研究会（二月二七日）

第十七回研究会（五月二九日）

第十八回研究会（七月三十一日）

第十九回研究会（九月二八日）

第二十回研究会（十一月一六日）

「教務日誌」にはやはり空襲や勤労働員について詳細に述べられており、資料的価値は高いと思われる。私見ではあるが、いづれ何らかのかたちで公表出来ればよいと考えている。

その他の作業としては、引き続き、池袋中高史料室に所蔵されている新制立教中学校資料群の整理および目録化を行っている。しかし、他の業務との兼ね合いからやはり昨年同様、あまり進展していない状況である。立教学院一五〇年史編纂に向けて、来年度こそは資料整理と目録化に本腰を入れて着手する所存である。